

いのおか いせき
飯岡遺跡

飯岡遺跡は飯岡丘陵全域にわたる弥生時代後期の遺跡です。過去5回の発掘調査で弥生時代に特徴的なお墓である方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}や住居跡が見つっています。また周辺には多くの古墳も存在しており、飯岡遺跡に住んだ人達と古墳の関係は興味深いです。



写真1 検出された竪穴住居跡（第3次調査）

飯岡遺跡と高地性集落

飯岡遺跡は丘陵上に集落が営まれており、第2次調査で見つかった方形周溝墓は標高60mに位置します。

このように丘陵上などの高所に営まれた集落は高地性集落と呼ばれ、本市では田辺天神山遺跡が代表例です。高所に造られた理由は戦のための見張り場や川を渡る船を見張るためなど諸説あります。



写真2 調査地からの眺め

どうして高いところに住んだのかな？

○飯岡の遺跡と古墳の年代

約2800年前

約1700年前

約1400年前

弥生時代

古墳時代

飯岡遺跡

飯岡車塚古墳

薬師山古墳

トゾカ古墳

ゴロゴロ山古墳

飯岡横穴

弥陀山古墳

飯岡東原古墳